

町民の皆さんとの
『意見交換会』

民意を反映した議会活動、意見交換で第一歩

富士見町議会議員会では、7月24日 コミュニティ・プラザにおいて、町民の皆さんとの意見交換会を開催しました。議会としては初めての試みに、30数名の町民の皆さんにご参加いただき、ご意見やご質問、ご要望をお伺いしました。

また、意見交換に先立ち、諏訪市出身の経済評論家、伊藤洋一先生より「地方経済の展望」についてご講演をいただき、町の将来をみんなで考える良い機会となりました。

■意見交換の要旨を
ご紹介します

Q：相対的によそからきた者に議会はわかりにくい。議会だよりで活動の様子が少ないわかってはきだが、町民から見えるように活動してほしい。

A：いつでも議会に来て、思いの丈を語ってほしい。

Q：パノラマに10億円融資することは既に決まったことだが、責任をどう感じているか。

A：議会にも応分の責任がある。議会内でも議論した。住民の雇用や観光対策面も考慮し、皆さんの理解を得ながら富士見の観光財産としてパノラマを見守っていくという結論になった。

A：議員個人としても重い結論で、今後もしっかり責任を背負っていくべきことと認識している。各議員がどのような考えの元に結論を出したのか、4月1日発行の議会だよりでお知らせしているの

で、読んでいただきたい。

Q：富士見町の今後の観光戦略は。パノラマは今年低調のようだが、パノラマ以外についてもどうするか。

A：パノラマ単独の再生は厳しい。八ヶ岳観光圏の中で、連携した開発をこれから進める。国内の需要だけではやっていけないので、近隣市町村では中国や韓国などアジア圏から観光客を呼び込む動きに移っている。これから

